



(右から)
『栄花物語』、『源氏物語新釈悠考』、『紫家七論』、『栄花物語』巻七(第二四巻)所載の挿絵から部分転載

入場無料

令和6年度鳥取県立図書館特別資料展
「平安時代の物語文学」
―読み継がれた―

源氏物語と池田亀鑑―展

『源氏物語』は千年前に書かれ、今日に至るまで長く読み継がれてきました。時代ごとに注釈本、訳本、絵画、マンガ、ドラマなど様々な方法で楽しまれています。本資料展では、県立図書館所蔵の江戸時代の源氏物語注釈本『湖月抄』をはじめとした平安時代の物語文学の資料を展示し、あわせて源氏物語研究の第一人者である池田亀鑑(現日南町出身)の業績を関連資料とともに紹介します。

会期 2024 (令和6年) 8/24(土) → 9/29(日)

開館時間 火～金……………午前9時～午後7時
土・日・月・祝日…午前9時～午後5時
休館日: 8月31日(土)・9月12日(木)

会場 鳥取県立図書館
2階 特別資料展示室

関連行事 郷土文化講演会

手話通訳/要約筆記あり

9/1(日)
午後1時～3時

事前申込制
先着80名

主会場

①鳥取県立図書館 大研修室
(サテライト会場/オンライン視聴あり ※詳しくは裏面をご覧ください。)

サテライト会場

②伯耆町立溝口公民館 ③日南町総合文化センター
(①②の申込は県立図書館まで、③は申込不要)

申込締切
8/23(金)



作品の個性や人物像の発見に
繋がってみませんか

平安文学に描かれる中宮定子、藤原伊周、藤原道長などの登場人物について、『枕草子』『栄花物語』といった文学作品と史実とを合わせてお話いただきます。

演題

「平安文学の人物像について
―史実に相照らして―」

講師

高橋 由記氏
(流通経済大学教授、紫式部学術賞('21))

主催/鳥取県立図書館 後援(五十音順)/日南町、伯耆町教育委員会



問合わせ先
鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101

TEL: 0857-26-8155 FAX: 0857-22-2996 Mail: kyodo@library.pref.tottori.jp



本年の大河ドラマで注目を集めている「源氏物語」と平安時代の物語文学。そして、源氏物語や平安王朝文学の研究で顕著な業績を残した鳥取県出身の池田亀鑑。この機会に関連する貴重な資料で紹介します。

受け継がれてきた物語文学



【主な展示内容】湖月抄、竹取物語抄

物語文学はどのように伝えられたのか。池田亀鑑の「桃園文庫」旧蔵「源氏物語」（古写本）などもパネル展示で紹介します。

源氏物語が生みだした作品



【主な展示内容】源氏目案、玉の小櫛

江戸時代の注釈書をはじめ、与謝野晶子ら近現代文学者による現代語訳版や絵画、マンガなどの様々なメディアで表現された関連資料を紹介します。

古典文学の世界—平安王朝の物語文学—



【主な展示資料】栄花物語、大鏡

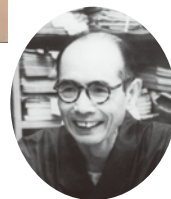
歴史物語、王朝物語、軍記物など古典を載せた江戸期以降に刊行された和本資料を紹介します。

池田亀鑑の果たした役割と源氏物語の未来



【主な展示資料】亀鑑の手書き原稿、研究著書、随筆作品

池田亀鑑について、研究とその人となりを含めて紹介します。



関連行事 郷土文化講演会

- ▶ 日時 **9/1** 日 | 手話通訳 要約筆記あり 午後1時～3時 事前申込制 先着80名
- ▶ 会場 鳥取県立図書館 大研修室
(サテライト会場/オンライン視聴あり)
視聴方法は、当館ホームページをご覧ください。

講師 **高橋 由記** 氏(流通経済大学教授・博士(文学))
実績等：紫式部学術賞(’21)、関根慶子賞(’20)
近著：『平安文学の人物と史的世界—随筆・私家集・物語—』(’19)

問合わせ先

鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101

TEL：0857-26-8155 FAX：0857-22-2996 Mail：kyodo@library.pref.tottori.jp

「郷土文化講演会」参加申込書

申込方法 持参、電話、ファクシミリ、電子メールにてお申し込みください

申込締切 **8/23** 金

ふりがな お名前			電話番号	
希望される会場に○をつけてください				
9/1 日	主会場		サテライト会場	
	①鳥取県立図書館		②伯耆町立溝口公民館 ※③日南町会場参加の方は 申込不要	
				申込日時 (※図書館記入)

※いただいた個人情報は今回の「郷土文化講演会」参加申込以外の目的では使用しません。 ※定員を超過した場合のみご連絡いたします。